

JOC ジュニアオリンピックカップ大会
第45回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会
要 項

2021年10月24日

1.主催

公益財団法人日本スケート連盟（以下「本連盟」という。）

2.後援

公益財団法人日本オリンピック委員会 釧路市 釧路市教育委員会

3.主管

一般財団法人北海道スケート連盟（運営主管：釧路スケート連盟）

4.会場

釧路市柳町スピードスケート場

北海道釧路市柳町1-1 TEL: 0154-22-3876

※ 競技会開催中に、競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。

5.競技距離

(1) 総合得点競技

女子 500m 1000m 1500m 3000m

男子 500m 1000m 1500m 5000m

(2) 距離別競技

女子 500m 1000m 1500m 3000m マススタートレース(10周)

男子 500m 1000m 1500m 5000m マススタートレース(10周)

(3) 団体競技

女子 チームパシュートレース(6周) チームスプリントレース(3周)

男子 チームパシュートレース(8周) チームスプリントレース(3周)

6.競技日程

2021年12月9日(木)

公式練習 13:00-13:50、14:05-14:55、15:10-16:00

(各セクションとも開始20分後から20分間スタートトライアルを実施する)

代表者会議 17:00 (柳町スピードスケート場)

2021年12月10日(金)

ウォームアップ 7:00-7:40、7:50-8:30

開会宣言 8:50

競技開始 9:00 ①女子500m ②男子500m ③女子1500m ④男子1500m

⑤女子マススタートレース準決勝 ⑥男子マススタートレース準決勝

公式練習 競技終了後30分

2021年12月11日(土)

ウォームアップ 7:00-7:40、7:50-8:30

競技開始 9:00 ①女子1000m ②男子1000m ③女子3000m ④男子5000m

公式練習 競技終了後30分

2021年12月12日(日)

ウォームアップ 7:00-7:40、7:50-8:30

競技開始 9:00 ①女子チームパシュートレース ②男子チームパシュートレース

③女子チームスプリントレース ④男子チームスプリントレース

⑤女子マススタートレース決勝 ⑥男子マススタートレース決勝

閉会式 (派遣選手選考委員会終了後)

※ 競技日程は、参加者数により変更する場合がある。

7. 競技方法

- (1) 本競技会は、距離別競技 (MSR を含む)、総合得点競技及び団体競技とする。
- (2) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟スピードスケート競技規則 (以下「ISU 規則」という。)、本連盟スピードスケート競技規則に従って実施する。
- (3) トラックは標準 400m ダブルトラック C タイプとする。ただし、チームパシュートレース (以下「TPR」という。) 及びチームスプリントレース (以下「TSR」という。) についてはシングルトラック、MSR については、アップレーンを含まないシングルトラックを使用する。
- (4) 1000m 以上の距離にカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (5) 各距離 (MSR、団体競技を除く) における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項については ISU 規則第 239 条 2 項に従う。
 - ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成
 - ① 距離ごとに、参加申込みが受け付けられた競技者 (以下「参加競技者」という。) について、当該距離の前年度記録 (2021 年 3 月 31 日時点の記録。ただし、高地リンクで樹立されたものを除く。) 又は当該距離の本年度記録 (2021 年 11 月 21 日時点の記録。ただし、高地リンクで樹立されたものを除く。) のよい方 (以下「ベストタイム」という。) の順位によって順位付ける。
 - イ) 組合せ及び滑走順
 - ① 各距離 (MSR を除く) において同時に滑走する参加競技者は、7. (5) ア) によって編成されたランキングの上位の競技者から 2 名ずつ組み合わせる。
 - ② スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。
 - ③ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。
 - ウ) (5) イ) の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU 規則第 245 条 1 項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。
- (6) 各距離及び総合得点競技の最終順位は ISU 規則第 265 条、第 268 条及び第 275 条に従って決定する。
- (7) MSR の競技方法は、以下のとおりとする。
 - ア) 競技方法は、ISU 規則第 253 条 4 項 b) に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット (ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい (詳細は、ISU コミュニケーション No. 2195 を参照)。
 - イ) 参加競技者が 28 名を超えた場合は準決勝を行い、決勝は 16 名とする。
 - ① 参加競技者を 1500m のベストタイムに基づき順位付ける。1500m のベストタイムのない者は抽選により順位付け、前段の最下位に続く。
 - ② 準決勝は、7. (7) イ) ①) により順位付けられた参加競技者を必要な組に配置する。各組への配置は、ISU 規則第 296 条 4 項を準用する。
 - ③ 決勝へは準決勝各組の上位から同数が進出する。
 - ウ) スタートは、参加競技者が 6 列に整列して行う。準決勝、決勝とも参加競技者の並び順は抽選による。
 - エ) 2 回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第 1 に、スプリントポイントの合計により決定し、第 2 に第 1 に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU 規則第 265 条 6 項に従う。
- (8) TPR の組合せ手順及びスタート順
 - ア) ISU 規則第 253 条に定める安全対策として、ヘルメット (ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい (詳細は、ISU コミュニケーション No. 2195 を参照)。
 - イ) 本競技会の 1500m の結果に従って次によりシードする。
 - ① 当該距離に 2 名以上が出場しているチーム： 2 位のスケーターの順位

② 当該距離に1名のみが出場しているチーム： そのスケーターの順位

ウ) 各組のスタート位置は順位の上位チームをフィニッシュライン側とする。組のスタート順はシード順とは逆に下位の組からとし、最上位のチームを最終組とする。

エ) チームの3番目のスケーターのフィニッシュタイムに従って順位を決定する。

オ) 以下、ISU規則第243条3項、261条1項及び265条の5項参照

(9) TSRの組合せ手順及びスタート順

ア) ISU規則第253条に定める安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい（詳細は、ISU コミュニケーション No.2195を参照）。

イ) 本競技会の1000mの結果に従って次によりシードする。

① 当該距離に2名以上が出場しているチーム： 2位のスケーターの順位

② 当該距離に1名のみが出場しているチーム： そのスケーターの順位

ウ) 各組のスタート位置は順位の上位チームをフィニッシュライン側とする。組のスタート順はシード順とは逆に下位の組からとし、最上位のチームを最終組とする。

エ) チームの3番目に割り当てられたスケーターのフィニッシュタイムに従って順位を決定する。

オ) 以下、ISU規則第243条3項、261条3項及び265条の7項参照

8. 表彰

(1) 男女とも、最優秀選手にJOCカップを授与する。

(2) 総合得点競技の総合選手権者にトロフィー、メダル及び賞状を、2位及び3位の者にメダル及び賞状を、4位から6位までの者に賞状を授与する。

(3) 距離別競技の1位から3位までの者にメダル及び賞状を授与する。

(4) 団体競技の1位から3位までのチームにメダル及び賞状を授与する。

9. 参加資格

(1) 本年度の本連盟登録競技者で、ISU規則第108条第1項d)に定めるジュニア対象年齢（2002年7月1日以降かつ2007年6月30日以前に生まれた者をいう）の者

ア) 次の表に掲げるタイム以内のベストタイムを有する距離にのみ参加することができる。

	500m	1000m	1500m	3000m/5000m
女子	45,00	1.32,00	2.22,00	5.03,00
男子	39,50	1.21,00	2.05,00	7.35,00

イ) MSR及び団体競技は参加申込をしている者全てを対象とする。（11.参加申込に定める参加申込は不要）

(2) 本連盟スピード部委員会が特に認めた者

(3) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード部委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

10. 参加制限

(1) 総合得点競技にあっては、全ての距離の参加資格タイムを保有する者とする。

(2) 距離別競技にあっては、参加資格タイムを保有する距離のみとする。

(3) MSRにあっては参加申し込みをしているすべての者、団体競技にあっては、参加申し込みをしている同一所属のチームのみとし、代表者会議で参加の有無を確認する。

11. 参加申込

(1) 参加資格を有する者にはJSFマイページ（<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>）の競技会参加申込サイト（以下「サイト」という。）でただし、MSR及び団体競技は代表者会議で受け付ける。

ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知（以下「受理通知」という。）を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。

イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。

ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、11.(1)ア)同様に受理通知を受け取ること。(サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)

エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書を提出すること。

オ) 大会事務局

全日本ジュニアスピードスケート選手権大会事務局

〒085-0063 北海道釧路市文苑3丁目33番4号 菊地 浩行 気付

TEL・FAX: 0154-64-9494 携帯: 090-9082-9101 E-mail: thepowerofflow@outlook.jp

本連盟事務局

公益財団法人 日本スケート連盟

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

TEL: 03-5843-0415 FAX: 03-5843-0416 E-mail: jsf@skatingjapan.or.jp

カ) 参加申込状況は参加申込締切後、本連盟ホームページに公開する。

(2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う(銀行振込に限る)ものとし振込手数料は申込者の負担とする。

ア) 参加申込料 (MSR 及び団体競技を除く。) 1名 1距離 5,000 円、3 距離以上 15,000 円

イ) 振込先

金融機関名: 釧路信用金庫 昭和支店

口座番号: 普通 0121680

名義人: 釧路スケート連盟

ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない。ただし、本連盟が特に認めた者はこの限りではない。

エ) 11.(2)ウ)ただし書に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。

オ) 複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書を大会事務局へ送付すること。

(3) 参加申込締切

参加有資格者 2021 年 11 月 24 日(水) 正午 ※受付開始: 2021 年 10 月 25 日(月)

(4) 中学生以下の者にはサイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。

(5) 11.(1)及び(2)の参加申込が前号の締切に遅延した者、又は 11.(1)の参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。

(6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

12. 宿泊

各自で手配すること。

13. その他

(1) 本連盟基準の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。

ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

① 体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

イ) マスクを持参すること。

- ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。
 - オ) 競技中に大きな声で会話、応援をしないこと。
 - カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
 - キ) 本競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
 - ク) 本連盟は本競技会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任を負わない。
- (2) 本競技会中(6.の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任を負わない。
 - (3) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
 - (4) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
 - (5) 本連盟主催競技会への参加に際しては、各自でアームバンド(4色)を手配すること。また、団体競技の場合は両腕に着用できるようにすること。
 - (6) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の影響で競技会が中止となり、バッジ級更新ができなかった者がいることから、2021年6月30日が有効期限のバッジ級は当面の間その期限を延長する。なお、更新の機会があれば速やかに更新すること。)
 - (7) 本競技会の成績は、次の競技会への派遣選手選考の対象とする。
 - ア) 2022 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会
 - イ) 2021/2022 ISU ジュニアワールドカップスピードスケート競技会最終戦